

Nami-Aru? / Internet

「Get it while you can!」

文：ジョージ・カックル

サーフィンもほかのアクティビティーと同じように、だんだん年を重ねていくと、やる時間が少なくなっていく。若い頃は学校をさぼってもサーフィンに行っていた（笑）。それこそ高校3年生のときは、週に2回しか行かなくていい学校に通っていたので、残りの日はサーフィンをしてた。そのために、学校へは鎌倉から電車を3回乗り換えて2時間半かけて拝島まで行き、駅から20分歩いて通っていた。

20代に入り、社会人になっても仕事をさぼって海に行った。でも、そんなことがずっと続くと思ったら大間違いだった。

俺は、一時期、波乗りから離れていた時があった。19歳から22歳ぐらいまで、世界をぶらぶら旅行しているときだ。サーフボードなんか邪魔な物を持っていくような旅じゃなかったんだ（今になると、サーフィンができない旅には行きたくないけどね！）。

その旅の後、サンフランシスコに住みはじめ、もう一度サーフィンに戻ったんだ。でもその時は、車のメカニックになるための学校に行っていた。卒業後にメカニックとして働きはじめたけど、考えていなかったことがあった。メカニックは毎日、8時から5時までの仕事なんだ。海に行く時間なんか土日しかない。そして、さぼれる仕事じゃなかった。耐えられなくなって数年後、仕事を変えた。それからというもの、海に行ける時間がとれる仕事をたくさんやってきた。それでも、人生はサーフィンを邪魔するさまざまなオブスタクルをあててくるんだよね。

一番は怪我だった。サーフィンをやっているって怪我をするのはしょうがないけどね。フィンで切ったり、岩に当たったり、板に当たったり。ついてない奴はローカルにやられたり（笑）。俺は岩に当たって鼻まで折ったこともあったな。それにサーフィンじゃなくても病気や怪我はあるよね。

最初に長く海に入れなくなったのは、サーファーズイヤーの時。サンフランシスコの海の水は冷たいから、一年中ウェットを着るんだ。そこで耳栓をすれば良かったんだけど、しなかったから、耳が塞がってしまった、両耳とも。当時、サーファーズイヤーの手術は大変なことだった。耳の前を切って、耳を後ろに曲げて、穴の中ををドリルで広げるんだ。その手術の後は半年間、海には入れないんだ。だから、両方やると一年以上海に入れなくなる。

その後、やったのは、バイクの事故。今度は2回手術した。1回目の手術とリハビリで、海には8ヶ月入れなかった。その後、2回目の手術でまた一ヶ月は海に入れなかった。その間、どんどん年はとっていく。間を空けると、元に戻すのは大変だ。もう前に乗った波には戻れないんだよ。

その上に、結婚したり、子どもができたりすると、海に行ける時間がだんだん少なくなる。大人になるといろんな責任が出てくるから。だからこそ、海に行く時間は意識的に作らないと。二度とその時間はこないよ。

最近、俺の周りの50代のサーファーたちは、これから何回サーフィン行けるかなといつも言っている。

でもきっといいこともある。もっと年を取ったら、昔みたいな大きい波には乗れないけど、だんだんまた行ける時間が増えてくるに違いない。それまで時間を作ってサーフィンしよう。また時間ができた頃、気持ちのいいサーフィンができるように。

So get it while you can!!